

札幌市大雪対応検討会議 概要

1. 会議の目的

近年、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少など、社会環境が大きく変化しており、雪対策においてもこれらを背景として、従事者の高齢化や市民の雪対策に対する負担感の増加などの課題が顕在化している。

建設局では、これらの課題に対応するため「冬のみちづくりプラン 2018」を策定し、持続可能な雪対策に向けた取組を進めている。

一方、令和3年度は数度の例年になく大雪に見舞われ、公共交通機関の運休や市内各所での渋滞発生、生活道路除雪の大幅な遅れなど、市民生活に大きな影響を与えた。

これらのことから、これまで進めてきた持続可能な雪対策と並行して、大雪時の対応についても早急に検討を進め、令和4年度の雪対策事業に反映させることを目的とする。

2. 主な検討項目

(1) 大雪時の対応指針・マニュアルの見直し

- 庁内の情報共有・連絡体制の整理
- 気象や道路状況に応じた除排雪作業の検討 など

(2) 大雪時の作業実施体制と作業内容

- 迅速な作業応援に向けた関係機関との事前調整
- 緊急体制への移行タイミングや作業の優先順位の検討 など

(3) 大雪を想定した雪堆積場の確保

- 緊急開設に向けた雪堆積場等の候補地の洗い出し
- 円滑な開設に向けて必要な準備作業の検討 など

3. 検討体制

- 危) 危機管理部
- 建) 雪対策室
- 区) 土木部

4. 今後のスケジュール

- R4.4.11 初回会議開催
- R4.4~R4.7 実務者会議、関係機関協議、除雪事業者ヒアリング等
- R4.8 下旬 対応策決定